

1 経営の基本方針

人間尊重の精神に徹し、国内外の社会情勢等を洞察し、又、地域社会における現実を見据えながら、一人一人の児童を大切にす教育の推進及び「徳・知・体・感」の調和のとれた児童の育成を目指す。

2 教育目標

◎「命を大切にし、自分で考え行動できる児童の育成」

- 自他の命を大切にし、思いやる豊かな心を持つ児童の育成 (徳)
- 自らの力で課題を追求し、解決できる児童の育成 (知)
- 心身ともにたくましく、意欲的に実践する児童の育成 (体)
- 豊かな体験を通して、感性を磨く児童の育成 (感)

著しく変化する時代に主体的に生き抜くためには、「夢や志を抱き、未来を切り拓く児童の生きる力を育む」ことが喫緊の課題である。特に社会の構成員として、また、形成者として知識とルールを身につけ、社会の発展に貢献できる児童の育成に対して、学校教育の役割は大きい。そのためにも、ひとりひとりの児童の「生きる力」の強化について、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成は、全教職員が一丸となり全教育活動を通じて積極的に推進していくことが大切である。

【目指す学校像】

◎「明るく、楽しく、学ぶ喜びのもてる学校」

- 児童にとって・・・・・・・・・・・・・・・・・・「行きたい学校」
- 保護者にとって・・・・・・・・・・・・・・・・・・「通わせたい学校」
- 地域にとって・・・・・・・・・・・・・・・・・・「信頼できる学校」
- 教職員にとって・・・・・・・・・・・・・・・・・・「働きがいのある学校」

【目指す児童像】

- 気持ちよくあいさつをかわす・・・・・・・・・・「清和っ子」
- なにごとも進んでやりぬく・・・・・・・・・・「清和っ子」
- たくましい心と体・・・・・・・・・・「清和っ子」
- 五感を通して心のみがく・・・・・・・・・・「清和っ子」

3 本年度の重点課題と努力目標

(1) 自他の命を大切にし、思いやる豊かな心を持つ児童の育成 (徳)

人間尊重の精神に徹した命と人権を大切にする「心の教育」の充実を図り、共に生きる心を培うと共に、道徳的実践力を高める明るい学校づくりに努める。

- ・児童の実態と地域社会に根ざす人権教育の研究と実践を通して、他を思いやる心や助け合う心を育成する。
- ・個に応じた指導や交流を通じて、特別支援教育の研究と推進を行う。
- ・人間としてよりよく生きるための基本的な心構えや自己の形成を図る道徳教育の研究と推進を行い、明るい心でたくましく生活する態度を育成する。
- ・正しい判断に基づく行動力と自主・自立の精神を育む生徒指導の徹底を図る。

- ・生命の大切さや思いやりの心を育て、福祉活動に進んで取り組む福祉教育を推進する。
- ・国際平和と人類共通の福祉・ボランティア等に貢献できる国際理解教育を推進する。

(2) 自らの力で課題を追求し、解決できる児童の育成(知)

学校教育の役割は、これからの社会の変化に対応しつつ、主体的・創造的に生きるための資質や能力を育成することである。そのため基礎基本を確実に定着させるとともに、各教科を中心として体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、児童の自主的・自発的な学習を促していくことが求められる。

- ・基礎基本の定着を図るため、教科の指導内容の厳選や方法に工夫を加えなくてはならない。また、基礎的基本的事項を明確に新たな学習システムの推進や指導法の工夫改善に努める。
- ・「生きる力」が全人的な力であることを踏まえ、社会の変化に主体的に対応できる力を育成するため、学習の計画的な実践に努め、授業内容の充実を図る。
- ・全校朝読の読書活動等の充実や生活点検活動を通して、言語環境の充実に努める。又、学年の発達段階に応じた学習規律の定着化を図ると共に、家庭学習の充実を図る。

(3) 心身ともにたくましく、意欲的に実践する児童の育成(体)

気力体力ともに優れた力をもつことは、将来の生活をより豊かに生きる基礎となる。生涯にわたって運動に親しみ、心身を鍛えることが出来るよう体育と保健指導、さらに、食育指導の充実を図る。

- ・児童の発育や発達に即した指導計画を立て、指導法を工夫する。
- ・自らの目標を定め挑み鍛える子どもの育成を図る。『早寝・早起き・朝ごはん』の徹底。
- ・進んで運動や体力づくりに参加する意欲の高揚を図る。
- ・健康を保持するための能力や態度を育成すると共に、食に対する正しい理解や習慣を養う。
- ・自他の生命尊重を基本に、安全で明るい生活を送ることが出来るよう学校安全の推進・強化に努める。

(4) 豊かな体験を通して、感性を磨く児童の育成(感)

総合的な学習・特別活動・外国語等々の豊富な体験活動を通して、今日的で身近な環境問題・諸課題等々にも興味・関心をもち、五感を通して認識を深める指導の工夫に努める。

- ・望ましい集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、さらに、豊かな人間関係や社会性を身につける。
- ・働く喜びを知り、責任を持って仕事をやり遂げる実践力を育成する。また、キャリア教育(社会的・職業的な自立に必要な能力や態度を育てる)ための基礎を培う。
- ・自己の役割を自覚し、進んで活動に参加し、協力する態度を育成し、生活環境の改善を目指す積極的な態度を育成する。
- ・自然に親しみその仕組みを学び、自然の恵みに対する感謝の心や畏敬の念を育てる。

4 学年目標・教科・研究・学力向上等について

- (1) 学年目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・別紙にて検討
- (2) 教科等の指導の重点・・・・・・・・・・・・・・・・各部会にて検討
- (3) 校内研究会の推進・・・・・・・・・・・・・・・・研究推進委員会にて検討
- (4) 学力向上推進・・・・・・・・・・・・・・・・学力向上推進にて検討
- (5) ※資質・指導技術の向上※・・・・・・・・・・・・・・・・※若手教員の育成※